

## 4 環境汚染の防止

(1) 大気汚染の防止 (2) 河川水質の保全 (3) 騒音・振動防止 (4) 悪臭の防止 (5) 有害物質による汚染の防止	(リーディング事業) 4-1 ふるさとの川づくり事業
--	-------------------------------

### 「特集」

#### ○ 一級河川松川の健康診断と水生生物観察会の実施

人口が集中する市内中心部を中央アルプスから天竜川へと流れ下る松川は、多くの市民の水とのふれあい、憩いの場ともなっています。その流域のまちづくり委員会や事業所、漁協、行政がともになって、水質の浄化と潤いのある水辺空間を市民が享受できるよう事業に取り組んでいます。

毎年、松川水環境保全推進協議会と飯田市環境チェッカーとの合同による「松川の健康診断と水生生物観察会」を行っており、平成 22 年度は 7 月 25 日に実施しました。

松川上流の妙琴公園付近と中流域の 2 箇所、水質判定キットによる簡易な水質測定と水生生物観察会を行い、松川水環境保全推進協議会の大人と小中学生を中心とする 30 人程度の参加がありました。インストラクターの指導のもと、松川の河岸付近の水生生物を観察し、水質と水生生物の関係などを体験する良い学習の機会ともなりました。

観察会の結果は、簡易な水質判定や水生生物の状況からも、松川の水質は一昔前に比較して、

たいへん清浄になっていることが分かりました。引き続き、観察会は毎年実施していく予定です。



松川中流域で水生生物を採集している様子

#### 4環境汚染の防止

##### (1) 大気汚染の防止

取組の名称	取組内容	環境に対する効果	実施主体	H22決算額(円)	H22款・項・目 (細々目名)
大気汚染苦情に対する取組み	事業活動に伴って発生する廃棄物の不適正な焼却に対して下伊那地方事務所と連携して直接指導を行いました。	大気汚染の度合いが緩和されました。	環境課	なし	
大気汚染苦情に対する取組み	家庭における不適正な廃棄物の焼却に対して直接指導を行いました。	大気汚染の度合いが緩和されました。	環境課	なし	

##### (2) 河川水質の保全(\*はリーディング事業)

取組の名称	取組内容	環境に対する効果	実施主体	H22決算額(円)	H22款・項・目 (細々目名)
水質検査及び指導	下水道法に規定する特定施設を有する事業所のうち、大手10事業所で下水道に流入する排水の水質を検査し、指導を行いました。	下水道への排水基準を遵守することにより浄化管理センターでの効果的な浄化が期待できます。	下水道課	81,900	02-02-01 (水質検査手数料)
家庭や事業所の水洗化の促進	公共下水道・特定環境保全公共下水道区域内で下水道工事施工済みエリア内の下水道へ接続していない市民及び事業所に対し、広報や訪問等により啓発折衝を行い下水道への接続を推進しています。下水道未接続の家庭や事業所述べ2,290件訪問し、146戸に接続していただきました。	水洗化により河川への生活雑排水の流入が減少し、河川の浄化が進みました。	下水道課	66,000	12-2-2-1-10-2(水洗化促進事業費)
* 河川の定期観測の実施	市内70河川、78地点において定期的な水質検査を実施しました。「資料編 第4章 3水質関係 (1)河川水関係 ②河川水質検査結果」参照	水質の状況を明らかにすることにより水質保全対策の推進に資する情報を集めることができました。	環境課	3,168,100	04-01-05 (水環境保全推進費)
飲用地下水水質検査斡旋・助成及び定期モニタリングの実施	地下水の汚染状況を把握するため、市内7地点で定期モニタリング調査を実施しました。また、井戸水を使用している家庭を対象に、飲用としての適不適を検査する飲用井戸水水質検査のあっせんを行い、平成22年度は237件の申込みがありました。上水道及び簡易水道を引けない世帯に対しては、検査費用の一部助成を行いました。「資料編 第4章 3 水質関係 (2)地下水関係」参照	水質の状況を明らかにすることにより水質保全対策の推進に資する情報を集めることができました。	各自治振興センター 環境課	221,201	04-01-05 (水環境保全推進費)

取組の名称	取組内容	環境に対する効果	実施主体	H22決算額(円)	H22款・項・目 (細々目名)
*松川水環境保全推進協議会の事業	松川水環境保全推進協議会は、飯田松川流域の自治会、衛生組合、下伊那漁業協同組合から組織されており、松川の水質浄化及び安らぎと潤いのある水辺空間づくりを目指して、様々な活動を行っています。 ○河川敷帰化植物(アザミ)の現状把握及び駆除(各団体) ○松川水生生物観察会(7/25) ○生活と環境まつりへ参加(10/16~17) ○観音霊水保全活動視察(1/26) ○松川流域事業所視察(1/26) ○水環境啓発活動(通年)	松川河川敷の生態系の保全、環境に関する意識の高揚等が進展しました。	松川水環境保全推進協議会 環境課	なし	
*天竜川・毛賀沢川堤防美化活動	平成22年9月26日(日) 天竜川弁天橋から毛賀沢橋までの堤防道路及び河川敷のごみ拾いを実施しました。 地区民約150人が参加し、うち緑ヶ丘中学校生徒が60人参加しました。 夏休みや祭りの時期を終えた時期は比較的ごみが多く散乱している状況から、現状を知り、環境への意識を高めるために継続事業として実施しています。	・ごみが散乱している現状を目の当たりにし、ごみを捨てることの環境への影響を肌で感じ、地域の貴重な資産である河川環境の保全に対する意識を高めることにつながりました。 ・平成21年度から中学生の参加もあり、環境に対する意識を高め、ふるさと意識を醸成することにもつながっており、環境学習の点からも有意義な取組みとなっています。	松尾地区まちづくり委員会、緑ヶ丘中学校、一般市民	なし	
天竜川河川敷美化活動	平成23年1月22日(土) 松尾河川敷マレットゴルフ場を中心に、天竜川河川敷の支障木の伐採や枝払い、枯れ草の除去や焼却、周辺のごみ拾いを実施しました。 地区民約420人が参加し、うち緑ヶ丘中学校生徒が107人参加しました。 平成18年度からの継続事業で、例年弁天橋周辺とマレットゴルフ場周辺の2箇所で行っていますが、平成22年度は河川工事の関係から1箇所の作業となりました。	・飯田市のシンボルともいえる天竜川河川敷の整備を行うことで、河川環境の保全と河川に対する親しみを深め、河川環境の保全に対する意識を高めることにつながりました。 ・平成21年度から中学生の参加もあり、環境に対する意識を高め、ふるさと意識を醸成することにもつながっており、環境学習の点からも有意義な取組みとなっています。	松尾地区まちづくり委員会、松尾マレットゴルフ同好会、緑ヶ丘中学校、一般市民	なし	

取組の名称	取組内容	環境に対する効果	実施主体	H22決算額（円）	H22款・項・目 （細々目名）
アレチウリ駆除	上郷環境保全委員会役員を中心に地区民総出で、アレチウリを抜き取る方法と葉に除草剤を塗る方法で駆除作業を行いました。抜き取る方法は茎の途中で切れてしまうため、除草剤のほうが効率的で効果が上がりました。年2回行うことで、取り残したアレチウリの駆除もできました。	生態系の維持と良好な景観形成。	上郷環境保全委員会	なし	

(3) 騒音・振動の防止

取組の名称	取組内容	環境に対する効果	実施主体	H22決算額（円）	H22款・項・目 （細々目名）
騒音測定の実施	道路に面する地域で6地点、中央自動車道1地点における24時間の騒音測定および自動車交通量の調査を行いました。また、市内一般地域における24時間の騒音測定の結果を7地点において行いました。	騒音防止施策の推進に必要なデータの収集を行うことができました。	環境課	1,575,840	04-01-05 （騒音・悪臭その他公害防止対策費）
遮音壁設置等の対策要望	中央自動車道沿線地区より要望のあった環境対策について、現地を確認し、騒音対策箇所については、すべての地点で24時間の騒音測定を実施しました。それらの要望については中央道環境対策協議会を通じて中日本高速道路株式会社へ対策の陳情を行いました。	中央自動車道沿線の住民に対する騒音が緩和されます。平成22年度には遮音壁が100m新設されました。	環境課	825,526	04-01-05 （騒音・悪臭その他公害防止対策費）
電波障害発生防止のための指導	電波障害の生ずる恐れのある建築物を建設する際に、飯田市環境保全条例に基づき発生防止対策を行うように建築確認申請時に指示しました。	電波障害の発生件数は少なく抑えられています。平成22年度は0件でした。	環境課	10,000	04-01-05 （騒音・悪臭その他公害防止対策費）
犬のしつけ方教室の開催	ペットに対する苦情防止の一環として県が主催する犬のしつけ方教室に協力しました。犬のしつけ方講習会等について、「広報いいだ」で年3回啓発しました。犬の糞の持ち帰り啓発記事1回を広報に掲載しました。 狂犬病予防注射通知の折、また狂犬病予防集合注射の受付にマナー啓発記事を掲載しました。 動物の愛護及び管理に関する条例（県）に基づく指導を保健所と共に個別対応しました。	飼い主のマナーを向上させることにより、環境への効果が期待できる一方、動物愛護の精神が培われました。	環境課	なし	

(4) 悪臭の防止

取組の名称	取組内容	環境に対する効果	実施主体	H22決算額 (円)	H22款・項・目 (細々目名)
悪臭苦情に対する取組	家庭における焼却等に起因する悪臭について、その都度現地を確認して対応を行いました。	悪臭苦情に対し一定の成果をあげることができました。	環境課	なし	
臭気定期観測の実施	特定の事業所の敷地境界及び排出水について、臭気測定を実施しました。また、悪臭防止目標を設定した6か所についても、臭気測定を実施しました。 「資料編 第4章 6悪臭関係」参照	測定地点における臭気に関する環境の確認を行うことができました。	環境課	849,975	04-01-05 (騒音・悪臭その他公害防止対策費)
畜産農業・堆肥による悪臭防止の取組	近年の宅地開発等によって農地と住宅の混在化が進んでいるため、田畑への施肥による悪臭等の苦情が増加しています。このため、畜産堆肥施用時の速やかな土壌への鋤き込み等を指導しました。	悪臭防止等に向けた取組を促進することができました。	農業課 環境課	なし	
各種施設における悪臭防止の取組	畜産施設、堆肥化施設などからの悪臭発生について、施設への脱臭装置の設置、消臭剤の散布などの防止対策を指導しました。	悪臭防止等に向けた取組を促進することができました。	農業課 環境課	なし	

(5) 有害物質による汚染の防止

取組の名称	取組内容	環境に対する効果	実施主体	H22決算額 (円)	H22款・項・目 (細々目名)
低農薬、減化学肥料の推進	土壌分析に基づく適正な施肥を行うため、土壌分析を推進し分析結果を農家に返還しました。分析件数 658地点 (野菜434点、果樹208点、花卉9地点、水稻1点、大豆2点、茶3点、わらび1点)	化学合成農薬の削減、適正施肥による環境負荷低減の推進体制ができました。	農業課	329,000	飯田市園芸振興対策委員会から補助
有機質堆肥などによる良好な土づくりの推進	「生活と環境まつり」で有機質堆肥利用の普及啓発を図りました。	有機堆肥利用促進による化学肥料に偏らない環境に配慮した土づくりと循環型農業の確立に効果がありました。	農業課		
大気・土壌中のダイオキシン類の測定	桐林クリーンセンターから排出される排ガスによる影響を把握するため、排ガス中のダイオキシン類、周辺8カ所での土壌中のダイオキシン類、周辺3カ所での大気環境調査を行いました。国の環境基準を下回る分析結果でした。 「資料編 第1章 1 飯田市のごみ処理の状況 桐林クリーンセンターの排ガス中ダイオキシン類調査結果及び土壌中のダイオキシン類調査結果」参照	桐林クリーンセンター周辺の環境の確認を行うことができました。	南信州広域連合 (桐林クリーンセンター)	なし	